

RAINBOW通信

第18号

New History

☆1部初勝利☆

★インカレ初出場決定★

<女子春季1部リーグ結果>

- 桐蔭横浜 24-29 日本体育
- 桐蔭横浜 14-25 東京女子体育
- 桐蔭横浜 18-19 筑波
- 桐蔭横浜 30-22 国土館
- 桐蔭横浜 24-23 東海
- 桐蔭横浜 22-24 日本女子体育
- 桐蔭横浜 17-20 早稲田

<下位リーグ>

- 桐蔭横浜 24-30 早稲田
- 桐蔭横浜 20-28 東海
- 桐蔭横浜 27-28 国土館

発行日: 2012/5/28
発行者: 桐蔭横浜大学ハンドボール部
問合せ先: 岡本大研究室045-974-5766
URL: <http://www.cc.toin.ac.jp/sc/handball/>

春リーグを終えて…
～激闘の初勝利～

4年生にとって最後の春リーグが終わり、“インカレ出場”を無事決めることができました。去年まほさん(第一期卒部生)をインカレに連れて行くことが出来なかった悔しさを胸に、冬の練習を全員が一丸となって乗り越えて来ました。そして迎えた春リーグ。初戦から接戦となる試合展開となりましたが、なかなか白星をあげることが出来ませんでした。そんな中まほさんが応援に来てくれた国土館戦、不甲斐ないプレーが多い試合となってしまいましたが、1部初白星をあげることが出来ました。

このリーグを通して、まだまだ1部上位のチームとの差があることを実感しつつも、手応えを感じれる部分も沢山あったと思います。チームとしても、個人としても、課題が明らかになった春リーグとなったので、この夏、身体的にも精神的にも一から鍛え直し、努力を忘れず、1つずつ上のステージにあがって行けるように秋リーグ、インカレに向けて精進して行きますので、今後とも応援よろしくお祈いします。

3年 重信 あかね

☆敢闘賞受賞☆

今回のリーグでは自分の力以上のものを出せたときもあれば、ふがない苦しいプレーをしてしまった時もありました。今リーグを通してチームとしても個人としても様々な経験をし、多くのことを学ぶことができたので、今回の悔しさをバネに秋に向けてより一層努力していかなければならないと感じています。自分の努力ではなくチームで頂いた敢闘賞だと思うので秋こそは優勝できるように甘い自分をもう一度見つめ直しチームの大きな柱に慣れるよう頑張ります。応援ありがとうございました。

4年 佐々木 莉紗



【春季ミニミニカップ】

6月2・3・9・10日に
行われるミニミニカップ!!
一年生も参加しますのでぜひ
応援よろしくお祈いします!!

<男子春季2部リーグ結果>

6勝3敗 ~2部3位~

- 桐蔭横浜大 20-34 青山学院大
- 桐蔭横浜大 29-23 慶應大
- 桐蔭横浜大 25-23 関東学院大
- 桐蔭横浜大 37-25 明治学院大
- 桐蔭横浜大 26-24 大東文化大
- 桐蔭横浜大 34-19 東京大
- 桐蔭横浜大 25-35 法政大
- 桐蔭横浜大 33-30 明星大
- 桐蔭横浜大 28-31 国際武道大

新チームの初めてのリーグ戦！！

新チームになり初めて挑んだ2部春季リーグ。まだ若く未熟なチームですが、リーグ戦前には国際武道大学や国士舘大学にお世話になり合宿や合同練習など厳しい練習にチーム皆で耐えてきました。リーグ戦初戦は敗れ、その後は連勝し続けおかけた最終戦。相手は合宿でもお世話になった国際武道大学。10点差で勝てば入れ替え戦、東日本インカシのチケットを獲得という大一番の勝負でした。しかし、試合開始から全然足が動いてなく、いつもの桐蔭らしいプレーができなく敗れてしまいました。この試合を通じて、



「気持ちの弱さ」を思い知らされました。結果は3位でしたが、新チーム初めてのリーグ戦としてはいい結果かもしれません。しかし自分達はこの結果に満足することなく、今後の練習にも日々精進し、秋季リーグも頑張りたいと思います。今後も桐蔭横浜大学ハンドボール部を応援よろしくお願いします。

3年 前島康広



春リーグを終えて・・・

今回の春季リーグは新チームとしての初陣であり、たくさんの期待と不安がありました。初戦を落とし、黒星スタートとなりましたが、その後5連勝を飾り、2部の王者である法政戦を前に勢いづきました。そしてのぞんだ法政戦、前半は全員が前を狙い桐蔭リードで後半に突入！しかし後半になり追われる立場となって逃げのハンドをしてしまい、逆速攻を重ねられ逆転負け。苦い思いをしました。気持ちを入れ替え、過去敗北を期している明星との勝負。桐蔭がリードするも粘りのハンドをされ、突き放すことができず苦戦しましたが、なんとか勝ち星を掴むことが出来ました。そして最終戦、10点差で勝てば2位浮上という大一番！誰しもが勝ちたいと思いましたが、自分達のハンドを出し切れず、負けてしまいました。悔しさしか残りませんでした。この悔しさを二度と味わいたためにも、夏の練習をどのチームよりも頑張り、秋季リーグは良い結果を残せるようチーム一丸となり、頑張りたいと思います。



3年 佐川央樹

春の悔しさをバネに

新チームは昨年、11月の練習試合で慶應大学に大敗し、マイナスからのスタートでした。みんなにとって今回の春リーグは特に思い入れが強くリベンジのリーグ戦でした。しかし初戦の青山学院戦はなかなかエンジンがかからず、終始相手のペースで試合が終わり、とても悔いが残る試合になりました。しかしその悔しさから、2戦目以降は連勝することができ、入れ替え戦まであと1歩のところまで辿り着きました。最終戦は去秋勝利している国際武道大学戦。誰もが全力でぶつかりましたが、力及ばず3点差で負けてしまいました。今回の春リーグは3位という結果に終わりましたが、自分達はこれでは納得していません。課題がたくさん見つかったので、夏の練習で克服し、秋リーグでは1部に昇格できるよう頑張りたいと思います。

2年 大久保俊輝

